



## Nursing now

### Nursing now

看護の力で健康な社会を！

このロゴマークを最近見かけるのではないのでしょうか？  
公益社団法人日本看護協会と日本看護連盟は、Nursing Nowの趣旨に賛同し、2019年2月より2020年末までの2年間、「**看護の力で健康な社会を！**」をテーマにNursing Now キャンペーンに取り組んでいます。



Nursing nowとは、  
ナースンゲール生誕200年となる2020年に向け、看護職が持つ可能性を最大限に発揮し、看護職が健康課題への取組みの中心に

立ち、人々の健康向上に貢献するために行動する世界的なキャンペーンです。英国の議員連盟が活動をスタートさせ、世界保健機関（WHO）及び国際看護師協会（ICN）の賛同の下、英国のチャリティ団体であるバーデット看護信託が事務局となり、世界的に広まっています。世界では、保健医療制度や人々のニーズが大きく変化しており、看護職はこの変化への対応が求められています。看護職が変化に対応し、一層活躍するには、看護職が適切に評価され、保健医療政策に影響を及ぼすことが重要であり、そのための様々な条件や環境を整える必要があります。

日本では、少子超高齢社会による人口・疾病構造の変化等を見据え、社会保障制度改革が進められており、医療・ケア・生活が一体化した地域包括ケアシステムへの転換が求められています。看護職には病気や障がいとともに生きる「暮らしの場」の看護、治療や回復のための医療機関での看護、地域住民の健康増進・疾病予防・介護予防をめざす保健活動などの役割があります。これに加え「**生活」と保健・医療・福祉をつなぎ、地域で暮らす全ての人々を支える健康な社会の醸成にも力を発揮することが求められています。**その役割を果たすためには、看護教育の拡充、健康で働き続けられる労働環境の整備、さらには安全で効率的にケアを提供するための看護職の役割拡大も必要です。

日本看護協会ホームページ引用

10月19日（土）  
**第23回 病院祭  
令和も地域とともに！**  
来場者数：1,600名  
準備～当日ご協力  
ありがとうございました。  
これからも、  
地域の方との交流を  
大切にしましょう。



## 認知症研修

認知症対応力向上研修に参加した職員と師長が中心になって、認知症ケアの対応について研修を行っています。  
認知症患者の看護や身体拘束に頼らない看護を行うために、日々のカンファレンスも充実してきています。それは、身体拘束率の低下からも実感できているのではないのでしょうか？  
8月：知って、正しく！認知症看護  
認知症マニュアルについて

9月：何でも認知症のせいと思いませんか？基本的対応を学ぼう！

10月：不要な拘束していませんか？その人らしさを考える



## 「ONE TEAM」

ラグビーワールドカップ2019日本大会  
南アフリカが3度目の優勝で幕を閉じました。  
これまでラグビーに興味のなかった人も、ルールが分からない人も、ラグビーの魅力を感じた人が多いのではないのでしょうか？

グラウンドの中でのチーム力、グラウンドの外でも各チームの紳士的な対応に心揺さぶられました。

私たちも、強く結束し、ONE TEAMで心を揺さぶる看護を実践していきましょう！



11月14日（木）

**患者にとっての最善のケアを考える  
～身体抑制と患者の尊厳を守る倫理的視点～**  
講師：上越総合病院

老年看護専門看護師 竹内真奈美氏

酷暑、台風、大雨が続き、大変な夏でしたが、あっという間に朝晩が寒い時期になりました。いったい秋はどこへ行ったのでしょうか。年末に向け忙しくなると思いますが、体調を崩さないように体調管理をしていきましょう。

